

空港のにぎわいを官民一体で創造

阿蘇くまもと空港との連携ワーキンググループ

町が組織した「阿蘇くまもと空港との連携ワーキンググループ」(以下、WG)は、空港会社をはじめとした関係者と連携して、空港を中心としたにぎわいづくりを進めています。

9月20日、WGは関係者を交えた空港見学会・意見交換会を行い、アイデアの共有などを図りました。

WGは今後、令和6年秋、空港にオープン予定のにぎわい広場(仮称)を活用した町民参加型イベントの開催など、さまざまな施策を推進していきます。



空港会社の案内で新旅客ターミナルビル内を見学



9月29日、町長報告に訪れた(左から)宮崎会長、水口浩介相談役

町のサッカー振興に多大な貢献

町サッカー協会 県スポーツ協会から表彰

町サッカー協会が、令和5年度県スポーツ協会スポーツ優良団体表彰を受賞しました。

同協会は、34年間にわたり、大会の開催やサッカー教室などを通じて、地域に根差したサッカーの普及活動を積極的に展開。町出身のJリーグ選手を多数輩出するなど、町のサッカー振興と競技力向上に多大な貢献をしたことにより表彰されました。

宮崎隆二会長は、「町のサッカーの発展に尽くしていただいた歴代の会員に感謝したい」と語りました。

地元の力を結集し見事総合6位

第78回熊本県民体育祭

第78回熊本県民体育祭が、9月16日・17日・23日・24日の4日間にわたり、菊池地域・山鹿を主会場として開催されました。

7月の大雨の影響により、上益城郡民体育祭が中止となったため代替試合などで代表を決め、練習時間の確保も難しかった中で臨んだ今大会でしたが、各種目の選手たちが奮闘。本町関係では、相撲が団体が優勝、グラウンドゴルフ男子が準優勝、バレーボール女子が3位入賞を果たしました。また、陸上競技の個人種目、女子34歳以下100mで、宇土綾乃さん(寺中)が優勝しました。

これら本町の成績に加え、サッカー(代表:山都町)で準優勝などの成績を取めた結果、上益城郡は総合6位という好成績を取めました。

1 相撲の選手みんなで1番のポーズ

2 グラウンドゴルフ男子 3 バレーボール女子



1



2



3